

An aerial photograph of Florence, Italy, taken from an elevated position. The city's dense urban landscape is visible, with the prominent red-tiled dome of the Florence Cathedral (Duomo) and the tall, white Giotto's Campanile tower on the left. The background shows rolling green hills under a sky filled with large, dark, dramatic clouds, with a bright light source breaking through near the horizon, creating a golden glow. The text "DA VINCI" is superimposed in the center of the image.

DA VINCI

ヴィンチ村から シャフハウゼンへ - 時をかける旅



ステンレススティール製の有名な「ダ・ヴィンチ」シリーズの中の一つ「ダ・ヴィンチ Ref. 3750」は、IWC初の機械式クロノグラフを備え、
全てが機械式にプログラムされた永久カレンダーが搭載されている

561年前、トスカーナ地方の小さな村に一人の男の子が誕生しました。彼の名は、レオナルド・ダ・ヴィンチ。彼の才能がなければ我々が知る今日の世界はなかったでしょう。生まれてから1519年5月2日にその生涯を閉じるまでの67年間、彼は数多くの発明品や機械を考案し、また自然の法則を発見して記録に残しました。その数は、彼の生きた時代やそれ以降の時代の何百もの発明や発見の数を超えるものです。

ダ・ヴィンチが人生を通して熱い情熱を傾け続けたのが時間を正確に計測することでした。ルネッサンス初期の時計仕掛けに対する彼の情熱を、数え切れないほど多くのスケッチが証明しています。斜歯歯車、かさ歯車、複雑なネジ伝動装置などの彼の画期的な発明はすべて、時計を含め、今日私達になじみの深い最も小さな機械の中に不動の地位を確立しています。場所を取らないバネ駆動や新しい脱進機に関する彼の研究は、特に重要なものです。彼が残した6000ページにも及ぶ手稿は、今なお畏敬の念を集めるものです。

ダ・ヴィンチは存命中、芸術家、科学者、要塞の建築家として大いに讃えられていました。しかしながら、人々が彼の知力が時代をはるかに先んじたものであったことを徐々に理解するようになったのは、19世紀以降のことでした。ダ・ヴィンチは、彼の生きていた時代に認知されていた全ての分野において、幅広い想像力を自由自在に働かせ、実験に対する飽くなき欲求に身を委ねました。イタリアの小さな村が生んだ天才、ダ・ヴィンチはその才能を開花させ、ヘリコプター、装甲戦車、三連砲、自転車、パラシュート、潜水服などといった驚くような発明を生み出したのです。これらのアイテムは、当時の限

IWCは高級時計の マスターピースを発表。 全て機械的にプログラムされた 永久カレンダーを備えた 「ダ・ヴィンチ」

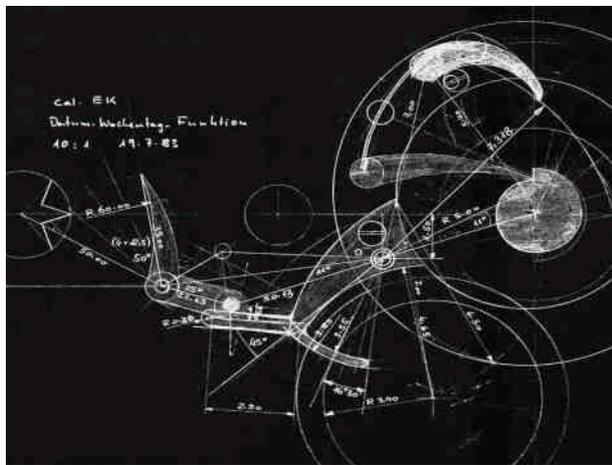
られた技術と生産方法では製造できないものでした。IWCが開催したダ・ヴィンチ展に際して、それまで飛行機のエンジンだと考えられていた機械が、実際には時計のムーブメントの原型であることが分かりました。これは世界中の注目を集めました。

1960年代後半、ダ・ヴィンチの革新的な思考パターンにインスパイアされたIWCは、彼の名前を冠した時計を開発しました。ごく初期の「ダ・ヴィンチ」モデルでさえ、その素晴らしい品質は多くの時計愛好家たちを驚かせました。

そしてこれらの特徴は現在のシリーズにも受け継がれています。つまり、「ダ・ヴィンチ」モデルに共通するのは、常に時代を先取りしているということに他なりません。IWCが開発した最先端技術が最初に適用されるのは、常



センチュリースライドが搭載された永久カレンダーは
2299年12月31日まで作動し続ける



クルト・クラウスによるダ・ヴィンチ用永久カレンダー機構のスケッチ

に「ダ・ヴィンチ」モデルでした。それらには、腕時計用の革新的なベータ21シリーズ・クォーツ・ムーブメントも含まれていました。これは1969年に、スイス時計産業が一丸となって開発したもので、精密測定の歴史における大躍進でもありました。しかしながら、日本からやってきた安価なクォーツ・ムーブメントの大量流入、石油危機、およびスイスフランに対するドルの暴落によって、スイス時計産業は未曾有の大打撃を受けました。このような試練にも関わらず、コンプリケーション・ポケットウォッチに見られるような機械式時計の伝統的技術は、IWCによって後世へと確実に受け継がれました。そうして1985年、IWCは高級時計のマスターピースを発表しました。これが、全て機械的にプログラムされた永久カレンダーと4桁の西暦表示を備えた機械式クロノグラフ、「ダ・ヴィンチ」でした。これまでの腕時計とは異なり、ガンギ車によって伝えられる膨大な経過時間は歯車機構によって、100年単位で1回だけセンチリースライドを動かします。こうした動きの中で、テンプの外縁の一点は地球の外周の40倍に等しい距離を動くことになります。

この複雑な機構は、たった83個のパーツから構成されており、使い方も非常に簡単です。IWCが有する携帯用時計の歴史の中で初めて、日付、曜日、月、年、4桁の西暦表示およびムーンフェイズ表示をすべてリュース操作のみで同時にセットすることができます。

その1年後の1986年、IWCは世界初のカラー・セラミックのハイテック・ケースに収められた「ダ・ヴィンチ」を発表しました。1995年には、永久カレンダーを搭載した自動巻き「ダ・ヴィンチ・クロノグラフ」の誕生10周年を記念して、「10時」位置に配置されたプッシュボタンで中間タイムを計測するスプリットセコンド針を備えた「ダ・ヴィンチ・ラトラパンテ」(Ref. 3751)を発表しました。新しいミレニアムを記念して、IWCはさらに改良した「ダ・ヴィンチ・トゥールピヨン」(Ref. 3752)を発表し、機械式時計において新たな頂点に立ったのです。しかし、常により良いものをつくり出す向上心を忘れなかったダ・ヴィンチのように、IWCもまた、2007年に「ダ・ヴィンチ」ストーリーに新たな章を加えました。長い歳月におよぶ研究とテスト、そして微調整の成果を实らせ、すべての「ダ・ヴィンチ」モデルを特徴的なトノー型ケースに収めることに成功しました。IWCの完全自社製キャリバー 89360は、「ダ・ヴィンチ・クロノグラフ」のために開発されたムーブメントであり、すべての製造過程がシャフハウゼンで行われています。このモデルではIWC史上初めてとなる「ウォッチ・イン・ウォッチ」方式が採用され、経過時間と時刻を通常の時計と同じように簡単に読み取ることができるクロノグラフです。さらに、2007年には限定生産の「ダ・ヴィンチ・パーベチュアル・カレンダー"クルト・クラウス"」を発表しました。これは、50年間にわたってIWCで時計製作に取り組んだクルト・クラウスへの賛辞を込めて作られました。また、IWC時計の愛好家の間で高い人気を誇る大型の日付表示を持つ「ダ・ヴィンチ・オートマティック」も発表されました。

2009年、IWCはこれまでにない傑出したモデル、「ダ・ヴィンチ・パーベチュアル・カレンダー・デジタル・デイト/マンズ」を発表しました。これは、永久カレンダー、閏年のデジタル表示、そして日付と月の大型デジタル表示を備えた世界初のフライバック・クロノグラフです。この改良はこれまでの努力の成果であり、時計製造の歴史における大傑作をもたらしました。そしてついに2010年、ハイテックセラミック（素材は酸化ジルコニウム）と、ポリッシュ仕上げあるいはサテン仕上げを施したチタニウムの驚くべき組み合わせを実現した「ダ・ヴィンチ・クロノグラフ・セラミック」が発表されました。



自社製キャリバー89800は、日付・月および閏年を文字で表示する



DA VINCI

MONTH

DATE

IWC
SCHAFFHAUSEN
LEAP 1 YEAR

PERPETUAL CALENDAR
SWISS MADE 30



永久カレンダーの ビッグデイト

1884年、IWCはパルヴェーバー・システムを用いて、IWCとして初めてとなる「デジタル」時計を製造しました。これらは、針で時刻を示すアナログ表示ではなく、時と分を個別の窓に数字でデジタル表示するものでした。そして125年後、IWCは大型の数字で日付と、そして初めて月もデジタル表示する「ダ・ヴィンチ・パーペチュアル・カレンダー・デジタル・デイト/マンス」を発表しました。月末に月と日のディスクを切り替えるために必要な動力は、1ヶ月を通じて少しずつゼンマイに蓄

積されます。この切り替えには、専用開発されたクイックアクション・スイッチが使用されます。月末になると、蓄積された動力が解放され、表示が進みます。同時に閏年表示が進む際でも問題なく切り替えが行われます。フライバック機能により、リセットボタンを押すと計測中のストップウォッチ針がゼロ位置に戻り、直ちに次の計測を開始することができます。IWC製キャリバー 89800は、474個もの部品から構成され、68時間のパワーリザーブを備えています。



ダ・ヴィンチ・パーペチュアル・カレンダー・ デジタル・デイト/マンス

REFERENCE 3761



REF. IW376107

18Kローズゴールド製

ダークブラウンのアリゲーター・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 68時間 -
リユース操作による永久カレンダーの早送り機能 - 大型の2桁デジタル表示 (日付・月) - 閏年表示 - ストップウォッチ機能 (時・分・秒) -
12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 -
秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リユース - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス -
サファイアガラスのシースル裏蓋 - 3気圧防水 - ケース厚さ 16.3mm - ケースサイズ 44 x 52.8mm

クロノグラフの新しい試み



1985年、他に類のない「ダ・ヴィンチ」のカレンダーとクロノグラフ・ムーブメントを携え、IWCは機械技術の新たな時代の幕開けを告げました。そして2007年、IWCは、裏蓋がサファイアガラス製の美しくデザインされたトノー型ケースにIWC製キャリバー 89000シリーズのムーブメントを収めた「ダ・ヴィンチ・クロノグラフ」を発表し、さらに新たな時代の出発を告げたのです。このモデルでは、これまでと同様

に、中央の大きなクロノグラフ針で秒を記録しますが、1分以上の計測時間はひとつのサブダイヤル上にあるアナログ針で表示され、簡単に読み取ることができます。計測された時・分は、第二時間帯表示のようにすぐにはっきりと読み取ることができるのです。時・分を別々のカウンターで読み取り、加算する必要はもうありません。極めて洗練されたムーブメントの技術革新により、クロノグラフの実用性が間違いなく高められました。

ダ・ヴィンチ・クロノグラフ

REFERENCE 3764



REF. IW376416

プラチナ製
ブラックのアリゲーター・ストラップ

プラチナ製500本限定生産 - 機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 68時間 - 日付表示 - ストップウォッチ機能 (時・分・秒) - 12時位置に同軸上に組み合わせられたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド - ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス - サファイアガラスのシースル裏蓋 - 3気圧防水 - ケース厚さ 14.4mm - ケースサイズ 43.1 × 51mm

ダ・ヴィンチ・クロノグラフ

REFERENCE 3764



REF. IW376417

18Kホワイトゴールド製

ダークブラウンのアリゲーター・ストラップ



REF. IW376420

18Kローズゴールド製

ダークブラウンのアリゲーター・ストラップ

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 68時間 - 日付表示 - ストップウォッチ機能 (時・分・秒) -
12時位置に同軸上に組み合わされたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付きスモールセコンド -
ねじ込み式リュース - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス - サファイアガラスのシール-裏蓋 -
3気圧防水 - ケース厚さ 14.4mm - ケースサイズ 43.1 x 51mm

ダ・ヴィンチ・クロノグラフ

REFERENCE 3764



REF. IW376421
ステンレススティール製
ブラックのアリゲーター・ストラップ



REF. IW376422
ステンレススティール製
ステンレススティール・ブレスレット

機械式クロノグラフ・ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合): 68時間 - 日付表示 - ストップウォッチ機能 (時・分・秒) -
12時位置に同軸上に組み合わせられたアワー・カウンターとミニッツ・カウンター - フライバック機能 - 秒針停止機能付き スモールセコンド -
ねじ込み式リューズ - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス - サファイアガラスのシースルー裏蓋 -
3気圧防水 - ケース厚さ 14.4mm - ケースサイズ 43.1 x 51mm

スモール ダ・ヴィンチと ビッグデイト

「ダ・ヴィンチ・オートマティック」は、この傑出した「ダ・ヴィンチ」シリーズの中で、比較的小型の時計を好む時計愛好家の方々のためにつくられました。トノー型ケースのサイズはわずか35.6x42.5mmですが、読み取りやすい大型の日付表示が付属しています。シルバーメッキの文字盤は、18Kローズゴールド製ケースとブラウンのアリゲーター・ストラップと完璧な調和を成し、エレガンスを際立たせています。タバコ色の文字盤はステンレススティール製のケースで縁取ら

れ、ダークブラウンのストラップと完璧に調和した組み合わせになっています。ブルーのストラップとシルバーメッキの文字盤にロジウムメッキの針を組み合わせたステンレススティール製モデルは、クラシックでクールな表情を見せています。ブラックの文字盤を備えたステンレススティール製モデルは際立って読みやすいのが特徴です。キャリバー 30130の自動巻きムーブメントを搭載したこの「ダ・ヴィンチ・オートマティック」は、あらゆる場面に欠かせない理想のパートナーです。



ダ・ヴィンチ・オートマティック

REFERENCE 4523



REF. IW452311
18Kローズゴールド製
ブラウンのアリゲーター・ストラップ



REF. IW452312
ステンレススティール製
ブラックのアリゲーター・ストラップ

機械式ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 42時間 - 大型の日付表示 -
秒針停止機能付きセンターセコンド - ねじ込み式リュース - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス -
3気圧防水 - ケース厚さ 10.9mm - ケースサイズ 35.6 × 42.5mm



ダ・ヴィンチ・オートマティック

REFERENCE 4523



REF. IW452314
ステンレススチール製
ブルーのアリゲーター・ストラップ



REF. IW452306
ステンレススチール製
ダークブラウンのアリゲーター・ストラップ

機械式ムーブメント - 自動巻き - パワーリザーブ (完全に巻き上げられた場合) : 42時間 - 大型の日付表示 -
秒針停止機能付きセンターセコンド - ねじ込み式リュース - 両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス -
3気圧防水 - ケース厚さ 10.9mm - ケースサイズ 35.6 × 42.5mm